

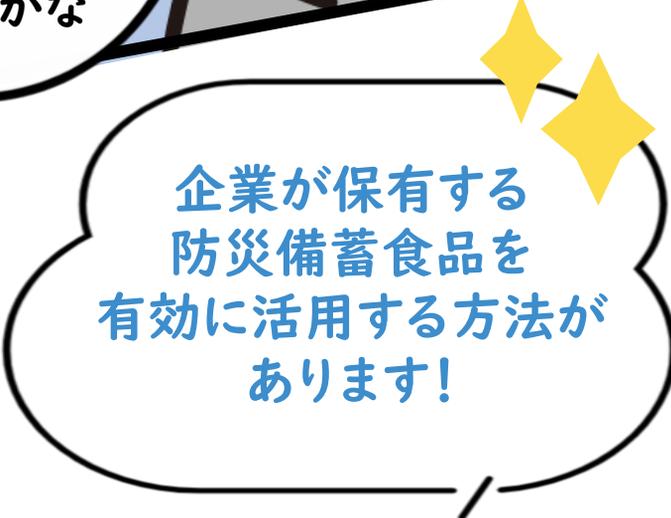
企業で保有している【防災備蓄食品】の 有効活用プロジェクト!



会社の
防災備蓄食品、
賞味期限が
近づいてきたな
どうしようかな?



防災備蓄食品の
導入を考えてる
けど、**保管期間後**は
どうしたら
いいのかな

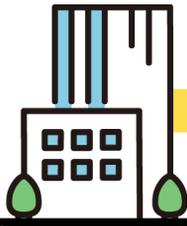


企業が保有する
防災備蓄食品を
有効に活用する方法が
あります!

日本の食品ロスは年間約520万トン以上あり、行政や企業で保管している防災備蓄食品はその数量に含まれず、膨大な量となっています。

現在企業で保管されている賞味期限が近づいた防災備蓄食品を有効活用することで、必要としている人たちへの支援や社会福祉として、社会貢献することができ、食品ロス削減にも取り組むことができます。この冊子では公益社団法人日本非常食推進機構が取り組んでいる活用方法を紹介します。防災備蓄食品の寄付・有効活用（食品ロス削減）について考えるきっかけとなりましたら幸いです。

活用方法① 社員への配布



企業

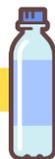
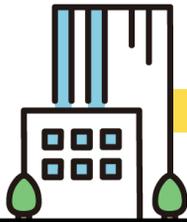
- ・食品ロスの削減
- ・社員への防災啓発
- ・自社で自己消費できる

社員

- ・家庭での防災について考えるきっかけづくり
- ・防災意識の向上

従来行われている、防災備蓄食品の社員配布は自社で完結することができ、社員の防災意識の向上、また家庭内での防災について考えるきっかけとなります。

活用方法② フードバンク・こども食堂・社会福祉協議会等への寄付



企業

- ・食品ロスの削減
- ・CSR・SDGs活動の一環として
- ・税制上の優遇措置

活用団体

- ・防災啓発活動
- ・生活困窮者支援
- ・こども食堂支援
- ・地域コミュニティ活動支援

賞味期限の迫った防災備蓄食品を寄付することにより、生活困窮者やこども食堂に支援を行うことができます。同時に食品ロスの削減にも取り組めます。

活用方法③ 防災食の新しい活用



企業

- ・食品ロスの削減
- ・CSR・SDGs活動の一環として
- ・社会貢献

障がい者支援施設

- ・障がい者の就労支援（賃金向上）

リメイク品購入者

- ・美味しく防災備蓄食品を消費
- ・防災意識を高めるきっかけづくり

防災備蓄食品の新しい活用方法として防災備蓄食品を材料として使用する

「リメイク料理弁当」の製造・提供を実施することが可能です。

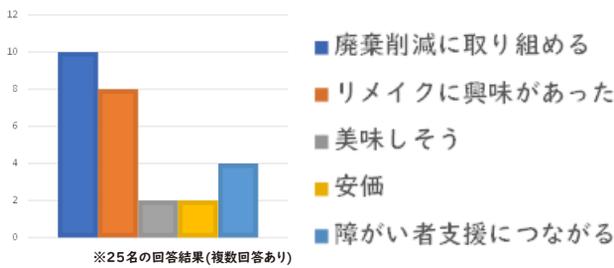
「食べることによって食品ロスを削減する」機会を増やすことができます。



実際にリメイク弁当を購入し、召し上がっていた方にアンケート調査を実施しました！（25名より回答）



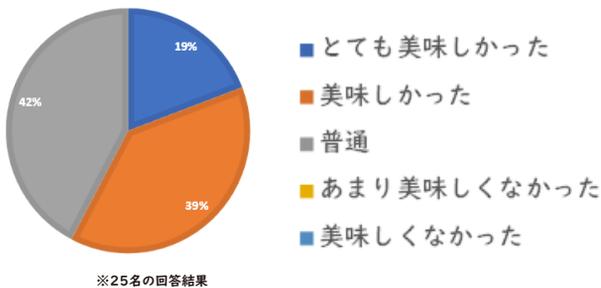
【防災備蓄食品を活用したリメイク弁当を購入しようと思った理由】



備蓄期限を満了した防災備蓄食品をリメイクすることは大変有意義だと思いました



【リメイク弁当の味についての感想】



リメイクと言われなければ気付かないくらい美味しかったです



企業で保有している【防災備蓄食品】の有効活用をお手伝いします！



寄付・回収

✓ 寄付先の選定

- 公益社団法人日本非常食推進機構と覚書を締結している全国の非営利活動団体様へお届けします。
活用団体様とは「転売せず、金銭その他の有価物、役務と交換しない」「非営利目的事業に関してのみ使用し、その他の目的のために使用しない」「廃棄しない」等お約束しており、ご寄付いただいた防災備蓄食品を有効的に活用します。

✓ 保有している防災備蓄食品の回収

- 時間を要する配送手配もおまかせください



寄付・活用実績のご報告

✓ 活用報告書で防災備蓄食品が

- ・搬出、お届け時の状況
 - ・寄付後の活用方法 等をご報告
- 企業のCSR活動報告としてもご活用いただけます

安心して
防災備蓄食品を
ご寄付ください！



※譲渡時に係る委託費(手数料・配送費等)をご負担いただきます。 ※譲渡いただくにあたり、協定書の取り交わしをさせていただきます。

- 防災備蓄食品の導入を検討しているが、
保管期間後はどうしたらいいのかわからない、現在迷っている
- 保有している防災備蓄食品の賞味期限が近づいてきた
- 寄付についてどこで情報を集めていいかわからない
- 近隣に寄付したいが寄付先がわからない

防災備蓄食品の有効活用に関するお悩み事があればご相談ください



公益社団法人 日本非常食推進機構

三重県松阪市久保田町字上沖127番地1 M 'sテラス7号 TEL: 0598-30-5481 MAIL: wba@jefo.or.jp <https://weact.jp/>